

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月5日

【四半期会計期間】 第21期第3四半期(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 K L a b株式会社

【英訳名】 K L a b I n c .

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 森田 英克

【本店の所在の場所】 東京都港区六本木六丁目10番1号

【電話番号】 03 - 5771 - 1100

【事務連絡者氏名】 専務取締役 高田 和幸

【最寄りの連絡場所】 東京都港区六本木六丁目10番1号

【電話番号】 03 - 5771 - 1100

【事務連絡者氏名】 専務取締役 高田 和幸

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第20期 第3四半期 連結累計期間	第21期 第3四半期 連結累計期間	第20期
会計期間		自 2019年1月1日 至 2019年9月30日	自 2020年1月1日 至 2020年9月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高	(千円)	22,377,930	26,360,776	31,109,972
営業利益	(千円)	1,711,007	2,254,007	1,673,637
経常利益	(千円)	1,568,781	1,803,110	1,625,599
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	1,216,178	855,814	383,868
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	1,367,288	787,418	493,625
純資産額	(千円)	17,290,467	18,486,729	17,194,584
総資産額	(千円)	23,415,112	25,157,356	23,669,989
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	32.40	22.42	10.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)	31.79	22.25	10.02
自己資本比率	(%)	69.2	65.8	65.3

回次		第20期 第3四半期 連結会計期間	第21期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	11.05	21.93

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症については、現時点では事業への大きな影響はないものの、今後の動向を注視してまいります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間の売上高は26,360,776千円となり、前年同期比17.8%の増加となりました。これは主に、「BLEACH Brave Souls」、「キャプテン翼 ~たたかえドリームチーム~」及び「ラブライブ! スクールアイドルフェスティバル ALL STARS」が好調に推移したことに加え、7月16日に提供開始した「テイルズ オブ クレストリア」(株式会社バンダイナムコエンターテインメントより配信)が新たに業績寄与したことによるものです。

費用面では、売上原価は20,488,628千円となり、前年同期比21.7%の増加となりました。これは主に、売上増加に伴い支払手数料及び使用料等が増加したことによるものです。

販売費及び一般管理費は3,618,140千円となり、前年同期比5.5%の減少となりました。これは主に、広告宣伝費が減少したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高26,360,776千円(前年同期比17.8%増)、営業利益2,254,007千円(前年同期比31.7%増)、経常利益1,803,110千円(前年同期比14.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益855,814千円(前年同期比29.6%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は25,157,356千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,487,367千円の増加となりました。

流動資産合計は15,736,246千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,914,015千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

固定資産合計は9,421,110千円となり、前連結会計年度末に比べ、426,648千円の減少となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定の減少によるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,670,627千円となり、前連結会計年度末に比べ、195,222千円の増加となりました。

流動負債合計は5,928,567千円となり、前連結会計年度末に比べ、755,884千円の増加となりました。これは主に、買掛金の増加によるものです。

固定負債合計は742,059千円となり、前連結会計年度末に比べ、560,661千円の減少となりました。これは、長期借入金の減少によるものです。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は18,486,729千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,292,144千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、145,418千円であります。

なお、当第3四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	93,618,000
計	93,618,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	38,314,300	38,317,400	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 また、単元株式数は100株となっております。
計	38,314,300	38,317,400		

- (注) 1. 提出日現在の発行株式のうち461,100株は、譲渡制限付株式報酬として自己株式を処分した際の現物出資(金銭報酬債権 511,866千円)によるものであります。
2. 提出日現在発行数には、2020年11月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日	40,100	38,314,300	12,429	4,860,717	12,429	4,556,472

- (注) 1. 新株予約権の行使による増加であります。
2. 2020年10月1日から2020年10月31日までの間に、新株予約権の行使により、発行済株式総数が3,100株、資本金及び資本準備金がそれぞれ957千円増加しております。

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式		
完全議決権株式(その他)	普通株式 38,307,000	383,070	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 7,300		
発行済株式総数	38,314,300		
総株主の議決権		383,070	

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
計					

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,779,871	7,523,803
売掛金	3,843,245	4,584,794
営業投資有価証券	1,518,463	1,904,089
その他	1,682,867	1,725,381
貸倒引当金	2,217	1,821
流動資産合計	13,822,230	15,736,246
固定資産		
有形固定資産	450,408	387,905
無形固定資産		
ソフトウェア	2,194,588	2,619,827
ソフトウェア仮勘定	1,263,704	382,389
その他	669,376	121,451
無形固定資産合計	4,127,669	3,123,668
投資その他の資産		
投資有価証券	2,926,405	3,592,810
その他	2,345,741	2,318,607
貸倒引当金	2,466	1,881
投資その他の資産合計	5,269,680	5,909,536
固定資産合計	9,847,758	9,421,110
資産合計	23,669,989	25,157,356
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,654,779	2,927,775
1年内返済予定の長期借入金	641,760	641,760
賞与引当金	132,759	33,209
その他	1,743,384	2,325,822
流動負債合計	5,172,683	5,928,567
固定負債		
長期借入金	1,302,721	742,059
固定負債合計	1,302,721	742,059
負債合計	6,475,404	6,670,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,820,599	4,860,717
資本剰余金	4,574,368	4,610,267
利益剰余金	6,227,333	6,956,289
自己株式	268,048	-
株主資本合計	15,354,252	16,427,274
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,976	80,571
為替換算調整勘定	9,761	34,791
その他の包括利益累計額合計	109,214	115,363
新株予約権	14,421	12,642
非支配株主持分	1,716,696	1,931,448
純資産合計	17,194,584	18,486,729
負債純資産合計	23,669,989	25,157,356

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	22,377,930	26,360,776
売上原価	16,836,879	20,488,628
売上総利益	5,541,050	5,872,147
販売費及び一般管理費	3,830,042	3,618,140
営業利益	1,711,007	2,254,007
営業外収益		
受取利息	20,882	21,219
受取配当金	24,245	35,721
その他	23,567	48,827
営業外収益合計	68,696	105,768
営業外費用		
持分法による投資損失	14,637	8,629
為替差損	187,790	537,554
その他	8,494	10,481
営業外費用合計	210,922	556,665
経常利益	1,568,781	1,803,110
特別利益		
自己新株予約権消却益	308	1,035
投資有価証券売却益	2,100	-
特別利益合計	2,408	1,035
特別損失		
減損損失	-	498,871
その他	2,915	1,285
特別損失合計	2,915	500,156
税金等調整前四半期純利益	1,568,274	1,303,989
法人税等	381,725	522,325
四半期純利益	1,186,548	781,664
非支配株主に帰属する四半期純損失()	29,629	74,150
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,216,178	855,814

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	1,186,548	781,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	158,093	18,858
為替換算調整勘定	36,549	44,552
持分法適用会社に対する持分相当額	13,902	19,940
その他の包括利益合計	180,740	5,754
四半期包括利益	1,367,288	787,418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,397,890	861,962
非支配株主に係る四半期包括利益	30,602	74,544

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
減価償却費	1,181,718千円	1,305,446千円
のれん償却額	66,870千円	49,053千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年3月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式168,000株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が155,904千円、自己株式が299,208千円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が4,514,327千円、自己株式が284,627千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年4月22日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬としての自己株式125,100株の処分を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が10,248千円、利益剰余金が126,858千円、自己株式が222,924千円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が4,610,267千円、利益剰余金が6,956,289千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	22,106,817	271,113	22,377,930
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	22,106,817	271,113	22,377,930
セグメント利益	5,474,753	66,297	5,541,050

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・ベンチャーキャピタル事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	26,109,280	251,495	26,360,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	26,109,280	251,495	26,360,776
セグメント利益	5,784,942	87,205	5,872,147

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・ベンチャーキャピタル事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	32円40銭	22円42銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	1,216,178	855,814
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	1,216,178	855,814
普通株式の期中平均株式数(株)	37,538,563	38,168,657
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	31円79銭	22円25銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	719,263	297,847
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第3四半期連結累計期間81,318株、当第3四半期連結累計期間21,125株であります。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月5日

K L a b株式会社
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 由 良 知 久 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 根 本 知 香 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているK L a b株式会社の2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2020年1月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、K L a b株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。